

中国から携帯品で持ち込まれた豚肉製品からの
アフリカ豚コレラ(ASF)ウイルス遺伝子検査陽性例について(2例目)

- 10月14日(月)に上海から羽田空港に到着した旅客の携帯品から検疫探知犬が探知し、任意放棄された豚肉製品(0.4kg、自家製餃子、非加熱)について、11月8日(木)に動物検疫所においてASFの遺伝子検査(PCR)を実施したところ、ASFウイルスの遺伝子を確認。
- このため、9日(金)に実施したシーケンス(PCR増幅産物の遺伝子配列の解析)の結果、PCR産物の配列がASFウイルスに特異的なものであることを確認した(これまでの分離株との近縁性は確認中。)。
- 今後は農研機構 動物衛生研究部門において、感染力のあるウイルスが存在するかを確認するため、ウイルス分離を実施(結果は2~4週間後に出る見込み。)
- 農林水産省としては、本年8月3日に初めて、中国においてASFが確認され、また10月19日に中国から携帯品で持ち込まれた豚肉ソーセージからASFウイルスの遺伝子が確認されたことを受け、動物検疫を強化するとともに、注意喚起を行ってきており、今回の確認を受け、改めて関係省庁や航空会社等に情報提供し、水際検疫を徹底しているところ。
- また、都道府県や養豚関係団体を通じて、生産者に対して情報を提供し、農場への侵入防止のため飼養衛生管理基準を遵守するように改めて指導しているところ。

(検体写真)

